

“花のまち御坊”ステップアッププラン

現状と課題

- ◆スターチス生産量日本一である等、全国有数の花き産地を形成
- ◆近年、花きの消費や販売価格の低迷により生産農家の所得が減少(10a当たり所得93万円(H16)→51万円(H20))しており、花き生産コストの縮減が課題

花き生産の低コスト化による農家所得の向上と、
花きと町並みを資源とした地域の活性化

【事業主体】

JA紀州中央、御坊市、御坊商工会議所、
地元協議会

【活用事業】

わがまち元気プロジェクト支援事業
新農林水産業戦略プロジェクト推進事業
和歌山の野菜花き産地活性化事業
わかやま中小企業元気ファンド事業
地域・ひと・まちづくり補助事業
ふるさと雇用対策事業

【全体事業費】

49,482千円

取組の4本柱(H21～H23)

- (1)花き生産・流通の低コスト化による産地の強化〔JA紀州中央、暖地園芸センター〕 14,517千円
 - 県オリジナル品種の生産・出荷マニュアルの作成と実践
 - 県オリジナル品種を低価格で生産農家に供給するための低温育苗施設の設置
 - 低コストの花き用輸送容器の改良品開発
- (2)花の販路拡大と花のまち御坊の情報発信〔JA紀州中央、御坊市〕 11,099千円
 - 市場(東京、名古屋、京阪神)でのオリジナル品種の販売促進と海外への試行販売
 - 花き野菜集出荷施設「がいなポート」での直売所設置
- (3)花きと町並みを資源とした観光産業の創出〔御坊市、御坊商工会議所、地元協議会〕22,866千円
 - 切り花の体験型観光や花海道の整備等、花にちなんだ観光資源づくり
 - 花をテーマにした食事メニューの開発や特産品づくり
 - 寺内町の観光基盤づくりと、語り部養成や食べ歩きマップ作成等による商店街の活性化
- (4)「花と町並み御坊」観光商品づくり〔御坊市、地元協議会〕 1,000千円
 - 花、寺内町、エネルギーパーク等の観光資源を活用した旅行商品の造成

スターチス



がいなポート(イメージ)



切り花体験



フラワーアレンジメント



目 標

①花き生産農家所得の向上(スターチス)

1億4千万円(H20)→1億7千万円(H25)→2億7千万円(H28)